

○奈良教育長 教育委員会協議会を開会します。

まず、教育委員会の活動状況について、事務局から報告をお願いします。

乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 それでは、教育委員の活動についてご説明します。

お手元にあります、教育委員会資料の活動状況資料をご覧ください。

まず、資料に修正等がございましたので、修正箇所を申し上げさせていただきます。

5月21日の所に現在教頭会というものが記載されておりますが、もう一つ行事等があります。

5月21日月曜日、学校訪問としまして、場所は東香里小学校、委員の参加は神田委員です。

もう一つ追加がございます。

5月10日木曜日、中宮中学校のオープンスクールの所に、谷元委員及び神田委員の名前の記入を追記していただきますよう、よろしくをお願いします。

教育委員の活動状況につきましては、4月21日から5月23日までの活動状況につきまして記載をしております。

活動日、活動内容、活動場所、活動出席委員名を記載しております。

内容につきましては、資料をご覧くださいますようお願いいたします。

以上、簡単ではありますが、教育委員の活動の説明とさせていただきます。

○奈良教育長 委員の活動について、所感の報告をしたいと思います。

それでは、委員を代表して神田委員から報告をお願いします。

○神田委員 私は、学校園の教育活動の公開、いわゆるオープンスクールが5月7日から6月25日までの期間に行われておりますので、そのことについて述べたいと思います。

私は5月10日の木曜日に中宮中学校、19日の土曜日には菅原小学校のオープンスクールに行きまして、それぞれの学校を参観しました。

菅原小学校では、野村校長の説明を受けながら全学級の授業参観をしました。

特に、校内研究で取り組んでいる思考ツールの指導法の一端を見ることができ、説明をしていただきました。

詳しい内容につきましては、ぜひ、公開授業に来て参観してもらいたいということでしたので、またその折に参観したいと思っております。

次に、中宮中学校です。

中宮中学校で、校門から玄関に入りますとまず思いましたことは、学校が非常にきれいということでした。

管理棟だけでなく、教室棟もほとんどごみが見当たりませんでした。

オープンスクールということもあると思いますが、日ごろの指導がきちんとされていることが分かりました。

雑巾が、どのクラスもきちんと雑巾掛けに掛けられて、小学校以上なのには大変驚き

ました。

3年目の清掃担当の先生の指導が徹底していて、それが全校に浸透しているということです。

玄関に入りましても、その壁面には生徒のビーズの作品が展示され、教職員の生徒に対する温かさを感じました。

中宮中学校は平日ということもあり保護者の方は少なかったようですが、学校訪問をした私と谷元委員への説明、案内は大変よかったです。

鶴島校長だけでなく、教頭、教務主任、学力向上担当者の4人から、校長室で授業参観の案内の前後に詳しい説明がありました。

管理職の校長、教頭だけでなく、教務主任や学力向上担当者が取り組んでいる状況を私たちに熱心に説明されるのを聞いて、これも感心しました。

その説明を聞いて何よりもよかったのは、中宮中学校の学校運営体制が確立しているということでした。

組織的に取り組み、校長の方針が教職員に浸透をしています。

その一つとして、生徒指導についての説明がありました。

全教職員で共通理解するための中宮中学校生徒指導（原則）というのが、B4、2枚半にまとめられまして、そこには指導方針、具体的な指導について生徒指導は全職員で協力して行うことなど、具体的に分かりやすく記載されています。

そういうこともありまして、現在生徒も落ち着いてるということでした。

全クラスの授業も、校長、教頭、教務主任、学力向上担当者の4人から丁寧な説明を受けながら、全クラスを参観してまいりました。

ほとんどのクラスで目当てが書かれ、板書も小学校と変わらないクラスもあるほど丁寧に書かれていました。

当日は教師の説明が中心の授業が多かったですが、適宜、小グループでの活動も取り入れた授業もありました。

1年から3年のどのクラスも生徒が生き生きして楽しそうにしている様子は、生徒指導を基盤とした学習指導の充実に取り組んでいる中宮中学校の、取り組みの成果が表れていると思えました。

今年度は、授業の質的向上が課題であるということは鶴島校長も分かっておられて、授業改善に、今年度、国立教育政策研究所の千々布先生が指導に入られることは、グッドタイムだというふうに思いました。

校長のリーダーシップが教職員を能動的に動かしているということが分かります。

終礼を全学年必ず行うことも徹底してるということです。

小学校でやっていたことのいいことは、中学校でもやる意味があると、これも清掃指導も含めてあらためて言われていました。

先生方が、管外の進んでいる学校の視察にぜひ行きたいと、これも積極的に言われて

いましたのが印象的でした。

枚方市の研究モデル校として、中宮中学校がさらに研究、実践を積み重ね、その取り組みをぜひ枚方市内の学校に広げていただきたいというふうに思いました。

学習指導、生徒指導が両輪になって、学校運営体制を基盤にして取り組んでおられる中学校のモデル校にもなろうかと思っています。

今までの学校訪問でも、特に私の心に残る中宮中学校の訪問でした。

最後に、オープンスクールのことについてです。

この実施状況を事務局からいただいた資料から見ると、ほとんどの幼稚園、小学校、中学校が午前中の公開となっています。

一部、部活の公開と午後の小中学校もあります。

実施日数を調べてみますと、小学校 45 校のうち 1 日の公開は 25 校、2 日間は 20 校です。

中学校は 19 校のうち 1 日は 8 校、2 日間は 5 校、3 日間は 4 校、5 日間は 2 校です。幼稚園 7 園では、2 日間は 5 園、3 日間は 2 園となっています。

オープンスクールが実施された当初は、小学校でも 5 日間ぐらい公開をしていましたが、土曜授業が学期に 1 回実施されるようになってから、現在の状況になったようです。

開かれた学校の趣旨で始まったオープンスクールですので、参観者が少ない、多いにかかわらず、学校を公開することに私は意味があるというふうに思っております。

先ほどお話ししましたように、幼稚園や中学校は複数日公開されている学校が多いです。

中宮中学校や山田中学校では 5 日間公開されています。

保護者対象の授業参観もありますが、土曜日以外の平日にもオープンスクールを複数回実施されたら、さらに開かれた学校になると、今回中宮中学校のオープンスクール等に行ったらためて思ったところです。

以上、所感とします。

○奈良教育長 ありがとうございます。

それでは、事務局からの報告案件ですが、案件 1 について説明をお願いします。

乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 それでは、就学前の教育と保育の在り方に係る一体的・総合的なプランについてご説明させていただきます。

案件の資料をご覧ください。

この案件は、総合教育部及び学校教育部の連名で文教委員協議会に提出を予定しているものです。

また、同様の内容で、子ども青少年部から厚生委員評議会に提出をされる予定です。

初めに 1. 政策等の背景・目的及び効果です。

子ども・子育て支援新制度は、質の高い教育、保育の総合的な影響、保育の量的拡大

(地域の子ども)、子育て支援の充実を柱として、全ての家庭が安心して子育てできる環境の整備を推進することとしています。

本市における就学前児童の状況においては、公立幼稚園では大幅に定員を割り込む状況が続いている一方、保育所等の入所者数は増加傾向にあり、取り組みを進めているところ です。

こうした状況を踏まえ、幼保連携の下、幼児教育の充実と待機児童の解消を図るため、民営化や統廃合も含めた、就学前の教育と保育の在り方に係る一体的、総合的なプランを作成するものです。

次に2. 内容です。

現時点におけるプランの骨子案についてご説明します。

初めに(1)プラン作成の目的です。

- ①子どもが安心して教育、保育を受けられる環境づくりを推進すること。
- ②幼保連携により、待機児童対策と幼保のニーズに沿った対策を推進すること。
- ③少子化の状況も踏まえ、今後の公立保育所、幼稚園の在り方を整理すること。

次に(2)プランの位置付けです。

既存計画等の整合性、継続性も考慮しながら、新たな幼保連携の方向性とその実現に向けた取り組みを示すものとしています。

次に(3)就学前児童の現状と課題です。

幼稚園、保育所等の入園、入所の児童数や待機児童数の推移等、公立幼稚園、公立保育所の状況、保育需要の今後の見込み、これまでの推移と今後の見込みを踏まえた課題。

次に(4)基本的な考え方・方針です。

就学前児童に対する教育と保育の基本的な考え方、公立幼稚園、公立保育所の役割と今後の在り方を示し、従来の方針にとらわれない民営化や統廃合等を含めた在り方に関する方針とします。

次に(5)具体的な取り組みと必要経費です。

将来の幼保のニーズと供給のバランスを見据えた公立施設の整理、集約化、公立幼稚園における3歳児保育への対応、公立施設の認定子ども園の移行、在宅での子育て支援施策の推進、取り組みによる効果額や必要な経費も併せて示します。

次に(6)プランの期間です。

①平成30年度から平成39年度までの10年間とし、将来10年後の方向性を見据えながら当面5年間の取り組みを示します。

②前期として、平成30年～34年の成果や課題、今後の少子化等の状況を踏まえ、後期、平成35年度以降の取り組みを示します。

3. 実施時期予定はご覧のとおりです。

また4. 総合計画等における根拠、位置付け、5. 関係法令、条例等についてもご覧のとおりです。

説明は以上です。

○奈良教育長 この件について、ご意見、ご質問等がありますか。

○奈良教育長 神田委員。

○神田委員 今、ご説明いただいて、この就学前の教育と保育の在り方に係る一体的・総合的なプランについて検討していただいていることですが、2.の(3)就学前児童の現状と課題というのが、大きな実態を踏まえたプラン作成になろうかと思えます。

そこに幼稚園、保育所等の入園、入所の児童数や待機児童数の推移と、3点あると思えます。

この部分につきまして、2点目の今後の見込み、これは課題とも関連するのですが、まず待機児童数や入園、入所の過去5年間ぐらいの推移、今年度の状況等を、もし分かればお教えいただければと思います。

分かる範囲で結構です。

○奈良教育長 黒田教育指導課長。

○黒田教育指導課長 公立幼稚園の過去5年間の児童数、及び入園率につきましてお答えします。

平成26年度は557人で61.2%、平成27年度は541人で59.5%、平成28年度は457人で50.2%、平成29年度は402人で44.2%、平成30年度は355人で44.2%と減少傾向にあります。

また、待機児童につきましては、平成26年度は250人、平成27年度は243人、平成28年度は283人、平成29年度は299人、平成30年度は320人と増加しています。

これは、どうしてもここの保育所に入りたいなどの希望があり、他に空きがあっても入らない、いわゆる旧定義での待機児童数になります。

一方、どこでもいいのでどこか入りたい、それでも入れない、いわゆる新定義での待機児童数を見ますと、平成26年度は0人、平成27年度は36人、平成28年度は0人、平成29年度は9人、平成30年度は30人となっております。

○奈良教育長 他にご意見、ご質問はありますか。

神田委員。

○神田委員 今、過去5年間の状況を教えていただいたのですが、その2点目の今後の見込みを、もしよろしければその課題も含めて教えていただければと思います。

○奈良教育長 乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 就学前の児童の現状の課題としましては、ただいま教育指導課長が報告しました状況や、これまで枚方市が作成してきましたビジョンや諸計画の検証も踏まえてお示しすることとなります。

今後の保育需要の見込みについては慎重に検討しなければなりません、過去5年間の経過を踏まえると、公立幼稚園にとっては厳しい状況が続くものと考えられます。

また、現状では、就学前保育の教育、保育のニーズと公立幼稚園、公立保育所の供給

のバランスが取れていないという状況は否定できません。

ただし、少子化の現状の中で、公立施設をどのように整理、集約していくかをしっかり検討をする必要があると考えています。

○奈良教育長 他にご意見、ご質問はありますか。

谷元委員。

○谷元委員 今回、現時点におけるプランの骨子案ということですが、(4) 基本的な考え方・方針の、従来の方針にとらわれない民営化や統廃合などを含めたあり方に関する方針、とありますが、もう少し詳しく教えていただけますか。

○奈良教育長 乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 従来の方針にとらわれない民営化や統廃合などを含めたあり方とは、幼稚園、保育所の枠を超えて、教育、保育の充実と待機児童の解消を図るための取り組みについて、あらゆる検討を行うというものです。

具体策等につきましては、(4) 基本的な考え方・方針に基づき、(5) 具体的な取り組みと必要経費でお示しすることになります。

○奈良教育長 谷元委員。

○谷元委員 よく分かりました。

平成 21 年 6 月に枚方市幼児教育ビジョンが策定され、来年で 10 年になります。

この間、少子化が進み、共働きの家庭も増え、保護者のニーズも変わってきています。

従来の方針にとらわれず、基本的な考え方、方針のもと、プランを今言われたように作成していただくようよろしくお願いいたしますと思います。

○奈良教育長 他にご質問、ご意見ありますか。

神田委員。

○神田委員 今、谷元委員が言われたことも関連するのですが、私は今日の案件を見せていただいて、2. 内容の(2)プランの位置付けとして、後半に新たな幼保連携の方向性とその実現に向けた取り組みを示すと、この辺を踏まえて3点目以降が挙がっていると思うんです。

意見として述べさせていただきます。

今、(4) 基本的な考え方・方針というところで、就学前児童に対する教育と保育の基本的な考え方と、こここのところの基本的な考え方というのは、非常に大事になってくるんじゃないかなと。

先ほどご説明いただいたことも含んでいると思います。

この基本的な考え方というものを、また今後、プラン作成の中で十分検討していただきまして、それを踏まえて具体的な取り組み、経費等も挙げていただきたいと思います。

3. 実施時期(予定)で日程を見ますと、来月6月までプランの検討ということで残り一月あまりだと思えます。

時間が限られておりますけれども、その中で案ができましたらお示しいただいて、また何らかの教育委員会の会議等でまた内容等も検討できたらと思っていますので、よろしくをお願いします。

○奈良教育長 他にご意見、ご質問等がありますか。

本件に対するご意見、ご質問はこの程度にとどめておきます。

続きまして、案件2について説明をお願いします。

津熊まなび舎整備室課長。

○津熊まなび舎整備室課長 私立学校園における空調設備の整備についてご説明をさせていただきます。

お手元の協議会資料の4ページをご覧ください。

まず1. 政策等の背景・目的及び効果です。

本市では、平成20年6月に枚方PFI学校環境サービス株式会社と事業契約書を締結し、枚方市学校環境整備PFI事業を実施しております。

今回、当PFI事業契約書に基づき、下記のとおり空調設備の整備を行うものです。

次に2. 内容ですが、(1)長寿命化対策による空調設備の新設につきましては、香里小学校では、増築する普通教室、会議室に空調設備を新設するものです。

また桜丘小学校では、増築する普通教室に空調設備を新設するものです。

(2)教室棟内への空調設備の新設につきましては、平野小学校の教室棟内の、空調設備が設置されていない教室に新たに設けた支援教室に空調設備を新設するものです。

西牧野小学校では、教室棟内の空調設備の設置されていない教室に新たに設けた支援教室及び留守家庭児童会室に空調設備を増設するものです。

(3)幼稚園の空調設備の新設につきましては、枚方幼稚園、蹉跎幼稚園、田口山幼稚園に新たに園内に設けた小規模保育室、事務室、保健室、調理室に空調設備を新設するものです。

資料の6ページ以降に、各施設の空調設備の新設場所につきましてそれぞれ地図を添付しておりますので、ご参照いただきますようお願いいたします。

恐れ入りますが、5ページにお戻りいただきます。

3. 事業者につきましては、枚方PFI学校環境サービス株式会社です。

今回設置する空調設備につきましては、本PFI事業の完了日である平成33年3月31日までの期間において、設置済みの他の空調設備と同様に、同事業により維持管理を実施する予定です。

4. 総合計画等における根拠、位置付け、5. 関係法令、条例等、6. 事業費・財源等につきましては記載のとおりです。

なお、参考としまして今後の予定ですが、本案件につきましては、平成30年5月30日開催の文教委員協議会に議案を提出する予定です。

また、6月の市議会においては財務部から契約の変更議案として提出する予定です。

以上、市立学校園における空調設備の整備についてのご説明とさせていただきます。

○奈良教育長 この件について、ご意見、ご質問等がありますか。

ご質問等がないようですので、本件については説明の聴取程度にとどめます。

続きまして、案件3について説明をお願いします。

津熊まなび舎整備室課長。

○津熊まなび舎整備室課長 学校施設（香里小学校・桜丘小学校）における長寿命化改修他工事についてのご説明をさせていただきます。

お手元の協議会資料の10ページをご覧ください。

まず1. 政策等の背景・目的及び効果ですが、本市では、多くの学校施設が建築後相当年数を経過し老朽化が進行し、建物の老朽化による安全性、衛生上の問題や、時代のニーズに適した教育環境に対応するため、施設、設備の更新が求められております。

このため、国から示された学校施設老朽化対策ビジョンを踏まえ、中長期的な視点から財政負担の軽減を考慮し、平成27年3月に枚方市学校施設整理計画を策定しました。

この計画に基づき、順次学校施設を更新し、教育環境の質的向上を図るため、今回香里小学校及び桜丘小学校の長寿命化改修他工事を実施するものです。

次に、2. 内容のうち（1）香里小学校ですが、①工事名書につきましては香里小学校長寿命化改修他工事で、②工事期間につきましては契約締結日から平成31年12月13日までとしております。

③工事内容につきましては下記のとおり各工事を実施します。

次に、資料11ページ（2）桜丘小学校ですが、

①工事名称につきましては桜丘小学校長寿命化改修他工事。

②工事期間につきましては契約締結日から平成31年3月15日までとしております。

③工事内容につきましては下記のとおり各工事を実施します。

なお、資料13ページ以降に各校の見取り図、計画配置図を添付しておりますので、ご参照いただきますようお願いいたします。

恐れ入りますが、資料11ページにお戻りいただきます。

3. 総合計画等における根拠・位置付けにつきましては記載のとおりです。

4. 事業費、財源ですが、（1）香里小学校は入札前のため、平成30年度予算の学校施設整理経費と平成31年度の債務負担公費額の合計を記載しております。

なお、この合計金額は、香里小学校以外の整備費を含めた金額です。

また（2）桜丘小学校につきましては仮契約済みで、事業費と財源は記載のとおりです。

参考としまして、今後の予定ですが、本案件につきましては、平成30年5月30日に開催の文教委員協議会に議案を提出する予定です。

また、6月の市議会においては、財務部から契約の議案として提出する予定です。

以上、学校施設（香里小学校、桜丘小学校）における長寿命化改修他工事についての

ご説明とさせていただきます。

○奈良教育長 この件について、ご意見、ご質問等ありますか。

神田委員。

○神田委員 意見といたしますか、お話しさせていただきます。

どちらの学校のほうも、長期休業中だけでなく長期間にわたった工事になるかと思
います。

特に香里小学校の場合は1年半近くになると思いますので、一つは児童への安全面、
もう一点は学校教育活動、いろいろな学校行事等もありますので、その辺も学校と協議し
ていただいて、学校教育活動に支障のないように進めていただけたらありがたいと思いま
す。

よろしくをお願いします。

○奈良教育長 他にご意見、ご質問等ありますか。

本件に対するご意見、ご質問はこの程度にとどめます。

それでは、本日の公開とする協議会は以上となります。

< 非 公 開 >

○奈良教育長 本日の協議会案件は以上となりますので、協議会を終了します。